

福岡大和倉庫分会全員解雇事件の経過

【事件の背景】

福岡大和倉庫株式会社（以下福岡大和又は単に会社という）は、20年前、雪印乳業（株）の要請を受けて大阪に本拠を置く大和倉庫作業（その後大和ムービング）が分社化して、前身企業「大成商運」の業務と人員（組合員）をほぼ全て引き継ぐ形で雪印乳業（株）福岡工場に進出し、製品の荷役を一手に引きうける専属下請け企業となった会社である。

【全員解雇に至る経過】

2003年1月、メグミルクは雪印乳業（株）他の負債を抱えての発足であったために3年で黒字化を目指す計画を立て、業績拡大よりも内部コストの削減にウェイトを置いた。当初、1リットル当たり4.4円であった下請け単価はわずか1年半の間に3.55円まで、不定期かつ数回にわたり切り下げられた。メグミルクからは交渉の度に、『受けられないなら業者を変える。』と言われ提示された単価を呑む以外に方法はなかった。

福岡大和は2005年4月20日、春闘の交渉中に「お願い書」なる文書を提案した。その内容は、5月に退職金を一旦精算したいというものであった。その理由として下請け単価の切り下げにともない、経営が悪化し、運転資金として退職積み立て金を切り崩すことになるため、今のうちに退職金を支払いたいというものであった。その後、断続的に団体交渉が行われたが、6月16日の団体交渉の席上小川社長は再び会社解散決定の文書を組合に示した。それに対して組合は会社が存続できるように労働条件の切り下げの協議を提案し会社存続へ向けて交渉を続けるように要求した。会社もこの提案に同意し、「今後3ヶ月間は会社存続に向けて話し合う」という確認書をかわして次回団交において具体的数字などを提出することを約束した。しかし、

雪印乳業（株）は2000年に食中毒事件を起こし、引き続くグループ企業の牛肉表示偽装事件でついに消費者の反発をかい、業績が極度に悪化した。そのため、2003年1月、雪印乳業（株）の牛乳部門は農協系グループ他社と統合して日本ミルクコミュニティ株式会社（以下通称のメグミルクという）として再発足することとなった。

次の6月23日の団交で会社はこの確認書を一方的に反故にした。この6月23日の団交では「メグミルクから『労使の3ヶ月間の話し合いは必要ない。これは（メグミルク）本社の指示である』と言われた」と小川社長は述べている。そして、福岡大和倉庫は2005年6月29日メグミルクに対して契約の解除を申し出るとメグミルクは即座に受理し、7月末で受託業務の打ち切りと従業員解雇が確定した。会社は解散の理由を「①収益をあげることができず経営が困難、②経営陣の健康上の問題」としていた。しかし、労働組合が「収益をあげることのできる」労働条件についての協議を提案したにも拘わらずその内容について曖昧な対応に終始し、一方的に拒否している。また「健康上の問題」は実務上も話し合いで解決できない性格の問題ではない。したがってこの事業撤退と解散は理由のない会社解散ということができ



るし、今振り返ると改めてメグミルクと大和の共謀性が色濃く残る。

【闘いの拡がり】

2005年11月には地元の連合地協と有志産別による福岡大和闘争支援共闘会議が発足し、組織内の行動とともに抗議集会、決起集会、デモ行進、街頭ビラ配布、ニュースカー教宣などの毎月行動を取り組んできた。また、メグミルクには2006年から本社への抗議行動や教宣活動をほぼ毎月取り組んできた。メグミルクの30%株主である雪印乳業には4月に株主の立場で指導するよう申し入れ、6月末の札幌で開催された株主総会にも分会員が単位株主として出席した。2006年7月にはこの解雇撤回闘争が1年目を迎え（以後3年まで実施）メグミルク本社前と福岡工場前で抗議集会を開催するとともに、ファックスによる早期解決に向けた抗議文書送付行動や結審を迎える労働委員会に公正な判断を求める団体と個人署名の行動を展開した。



【解決は全国に拡がった支援の成果】

私たちの3年間の闘いで全国の仲間から支援を受けた。地元福岡を始め、北海道での雪印乳業株主総会への取り組みでは自治労北海道と国労北海道の仲間の大きな支援を受けた。東京での抗議集会には自治労、国労、日教組、全国一般など多くの参加を得た。大阪での行動、東京での行動の全国一般ブロックの仲間の支援。集会や組織からのカンパや物販の取り組みに対する支援などあげればきりがなし。すべてが私たちの成果であり、大きな財産であ

る。これらの支える仲間の力があって初めて今回、解決に結びついた。改めてすべての仲間に感謝すると同時に仲間の連帯の力を確認することができた。分会ではこの全国の仲間の大きな支援、連帯に答えていく意味も含めて「福岡大和倉庫分会」を今後も継続していくことを確認しました。

私たち福岡大和倉庫そして全国一般の闘いに対するご支援、本当にありがとうございました。（全国一般福岡地本 福岡大和倉庫分会一同）